

1 衛生検査・環境検査

(1) 衛生研究所業務

衛生研究所では、公衆衛生及び環境保全に係る微生物、理化学の各分野の試験検査業務を実施しています。

検査には、保健所等市の事業に基づく行政検査（感染症、食中毒、苦情・相談等への対応を含む）と市民や事業所等からの依頼に基づき実施する依頼検査があります。

また、各検査の信頼性を維持するための精度管理を実施しています。

【公衆衛生に係る業務】

種 類	内 容
性感染症検査	行政検査として、HIV、梅毒、性器クラミジアの検査を実施
感染症発生動向調査	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）第14条（病原体定点調査）に基づき病原体定点で採取した検体及び同法第15条（積極的疫学調査）に基づき搬入された検体の病原体の分離・同定を実施
感染症法に基づく健康診断	感染症法第17条に基づき、健康診断として感染症患者の陰性化確認、接触者等の検便及び結核（QFT）検査等を実施
食中毒検査	糞便、食品等からの病因物質の検索、原因食品の究明
食品の微生物学及び理化学検査	食品中の微生物、添加物、動物用医薬品、残留農薬、重金属等について、行政検査を実施
薬事検査	いわゆる健康食品中の医薬品成分検査を実施
水道水、井戸水等の水質検査	依頼検査として、水質基準適合検査を実施
公衆浴場浴槽水等の水質検査	行政検査として、レジオネラ属菌等の水質基準適合検査を実施
家庭用品検査	行政検査として、繊維製品、洗浄剤等の中の有害物質検査を実施
放射性物質に関する検査	食品の放射性物質に関する検査を実施
苦情、相談等に関する検査	食品等の劣化や異物混入等に関する検査を実施
精度管理	検査精度維持のため各種検査について、精度管理を実施
衛生に係る調査研究	国との共同研究事業及びデング熱等媒介蚊サーベイランスを実施
公衆衛生情報の収集、解析及び提供	感染症情報センターを設置し情報発信を実施

【環境保全に係る業務】

種 類	内 容
工場排水等の水質検査	水質基準適合検査等を実施

(2) 検査実施状況

臨床・食品・環境等検体の微生物学試験、理化学試験を実施しました。

		総検体数	総項目数	一般依頼検査		行政検査		その他※1	
				検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
合計		17,854	26,589	57	807	17,719	25,124	78	658
性感染症検査	梅毒	111	222	-	-	111	222	-	-
	性器クラミジア	0	0	-	-	0	0	-	-
	HIV	115	115	-	-	115	115	-	-
感染症法	発生動向調査	病原体定点	細菌	0	0	-	0	-	-
		ウイルス	2	2	-	2	-	2	-
	積極的疫学調査	細菌	57	57	-	57	-	57	-
		ウイルス	16,823	16,823	-	16,823	-	16,823	-
	健康診断(結核を除く)	細菌	31	31	-	31	-	31	-
	健康診断	結核	255	255	-	255	-	255	-
食中毒検査※2		55	899	-	-	55	899	-	-
食品	微生物学検査	65	129	-	-	65	129	-	-
	理化学検査	106	6,269	-	-	106	6,269	-	-
環境検査	水質検査	飲料水等	56	804	56	804	-	-	-
		公衆浴場水等	38	113	-	-	38	113	-
		排水等※3	70	612	-	-	-	-	70
	家庭用品	30	116	-	-	30	116	-	
	悪臭	0	0	-	-	-	-	-	
放射性物質に関する検査	食品検査	32	96	1	3	31	93	-	
	飲料水(簡易水道等)検査	0	0	-	-	-	-	-	
	その他	0	0	-	-	-	-	-	
苦情検査		8	46	-	-	-	-	8	46
デング熱等媒介蚊のサーベイランス		20	60	-	-	-	-	20	60

※1：市の機関からの依頼検査及び調査研究等

※2：ふきとり検査を含む

※3：工場排水、地下水、排水自主検査等

2 検査実施内訳

(1) 性感染症検査

性感染症である HIV 及び梅毒の検査を実施しました。

令和3年度は、即日検査のみ実施のため性器クラミジアについては実施中止となりました。

項目		検査件数
梅毒	RPR	111
	TPHA	111
性器クラミジア	抗体検査 (IgA)	0
	抗体検査 (IgG)	0
HIV	抗体検査	115
合計		337

(2) 感染症法に基づく検査

感染症発生動向調査事業による病原体定点で採取した臨床検体から病原体の分離・同定を実施しました。

また、感染症対策課の依頼により、感染症発生時に、積極的疫学調査及び健康診断として海外渡航者等の原因者やその接触者の検便などの臨床検体の検査を実施しました。

ア 感染症発生動向調査（病原体定点）細菌

(ア) 月別細菌分離・同定状況

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分離細菌	A群溶血性レンサ球菌 T1型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T4型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T12型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T25型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 TB3264型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T型別不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(イ) 疾病名別細菌分離・同定状況

	合計	疾病名			
		A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	百日咳	細菌性髄膜炎	感染性胃腸炎
検査件数	0	0	0	0	0
陽性数	0	0	0	0	0
分離細菌	A群溶血性レンサ球菌 T1型	0	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T4型	0	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T12型	0	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T25型	0	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 TB3264型	0	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌 T型別不明	0	-	-	-

イ 感染症発生動向調査（病原体定点）ウイルス

(ア) 月別ウイルス分離・同定状況

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査件数	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09亜型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH3亜型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B型山形系統	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B型ビクトリア系統	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 4型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 53型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 54型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロタウイルス A群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A4型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A5型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A6型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A16型	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(イ) 疾病名別ウイルス分離・同定状況

	合計	疾病名							
		インフルエンザ	感染性胃腸炎	咽頭結膜熱	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎
検査件数	2	0	0	0	0	0	2	0	0
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09亜型	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH3亜型	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH1pdm09亜型及びAH3亜型	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B型山形系統	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B型ビクトリア系統	0	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B型系統不明	0	-	-	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3型	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 4型	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 53型	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 54型	0	-	-	-	-	-	-	-
	ロタウイルス A群	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2型	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A4型	0	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A5型	0	-	-	-	-	-	-	-
コクサッキーウイルス A6型	0	-	-	-	-	-	-	-	
コクサッキーウイルス A16型	0	-	-	-	-	-	-	-	

(ウ) インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型を対象とした薬剤耐性株の遺伝子解析

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
タミフル耐性株数 ※1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タミフル感受性株数 ※2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
判定不能数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1：タミフルが効かない、あるいは効きにくいインフルエンザウイルス

※2：タミフルが効きやすいインフルエンザウイルス

ウ 感染症発生動向調査（積極的疫学調査）

		合計	臨床検体	菌株
検体数		16,880	16,825	55
項目数		16,880	16,825	55
細菌	赤痢菌	0	-	-
	腸管出血性大腸菌	7	-	7
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	-	1
	カルバペネム耐性菌	11	-	11
	バンコマイシン耐性腸球菌	0	-	-
	レジオネラ属菌	2	2	-
	結核菌	36	-	36
ウイルス	デングウイルス	0	-	-
	チクングニアウイルス	0	-	-
	ジカウイルス	0	-	-
	重症熱性血小板減少症候群ウイルス	0	-	-
	麻疹ウイルス	0	-	-
	風疹ウイルス	0	-	-
	ノロウイルス	0	-	-
	サポウイルス	0	-	-
	ロタAウイルス	0	-	-
	ロタCウイルス	0	-	-
	エンテロウイルス	0	-	-
	アデノウイルス	0	-	-
	ヘルペスウイルス	0	-	-
	ムンプスウイルス	0	-	-
	インフルエンザウイルス	0	-	-
	SARS-CoV-2	16,823	16,823	-
	ウイルス分離	0	-	-

エ 健康診断（結核を除く）

		検体数
項目		31
細菌	赤痢菌	0
	腸管出血性大腸菌	31

オ 健康診断（結核）

		検体数
項目		255
結核	QFT（IGRA検査）	255
	喀痰検査	0

(3) 食中毒検査

市内で発生した食中毒及び他の自治体で発生した食中毒に関連する検査を実施しました。

	合計	食品	ふきとり	便	その他	
検体数	55	0	20	31	4	
項目数	899	0	340	553	6	
内 訳	腸炎ビブリオ	50	-	20	30	-
	ビブリオ・フルビアリス	50	-	20	30	-
	ナグビブリオ	50	-	20	30	-
	ブドウ球菌	48	-	20	28	-
	セレウス菌	50	-	20	30	-
	ウェルシュ菌	50	-	20	30	-
	サルモネラ	50	-	20	30	-
	腸管出血性大腸菌	50	-	20	30	-
	病原性大腸菌	50	-	20	30	-
	カンピロバクター	52	-	20	30	2
	エルシニア	50	-	20	30	-
	エロモナス	50	-	20	30	-
	プレジオモナス	50	-	20	30	-
	赤痢菌	50	-	20	30	-
	コレラ菌	50	-	20	30	-
	チフス菌	50	-	20	30	-
	ノロウイルス	24	-	-	24	-
	サポウイルス	20	-	-	20	-
	ロタウイルス	0	-	-	-	-
	アデノウイルス	0	-	-	-	-
アニサキス	2	-	-	-	2	
細菌PCR検査	53	-	20	31	2	

(4) 食品検査

生活衛生課の収去による行政検査や調査研究のための検査、また他課からの依頼による検査を実施しました。

ア 微生物学検査

	合計	魚介類及び その加工品	肉・卵類及び その加工品	乳類及び その加工品	アイスクリーム・ 氷菓・氷雪	穀類加工品	野菜類・果物及び その加工品	菓子類	清涼飲料水	弁当・惣菜・ 調理パン	レトルト食品	冷凍食品	ふきとり	その他 ※1
検体数	65	5	0	0	8	0	1	0	5	0	0	34	10	2
項目数	129	5	0	0	16	0	1	0	5	0	0	68	30	4
細菌数	54	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	34	10	2
大腸菌群	44	5	-	-	8	-	-	-	5	-	-	14	10	2
E. coli	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-
E. coli最確数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黄色ブドウ球菌	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-
腸炎ビブリオ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸炎ビブリオ最確数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サルモネラ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌 ※2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
乳酸菌数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クロストリジウム属菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸球菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑膿菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カンピロバクター属菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リステリア菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 ※3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1：粉末清涼飲料

※2：026、0103、0111、0121、0141 及び 0157

※3：当該容器包装詰加圧加熱殺菌食品中で発育しうる微生物

イ 理化学検査

(ア) 添加物等検査

		合計	魚介類及びその加工品	肉・卵類及びその加工品	乳類及びその加工品	アイスクリーム・氷菓・氷雪	穀類及びその加工品	野菜類・果物及びその加工品	菓子類	清涼飲料水	酒精飲料	缶詰・びん詰食品	弁当・惣菜・調理パン	レトルト食品	凍結前未加熱加熱後採取冷凍食品	その他※
検体数		72	5	0	0	8	3	6	18	8	11	7	0	0	2	4
項目数		1,037	85	0	0	16	3	107	320	114	179	129	0	0	2	82
合成保存料	ソルビン酸	54	5	0	0	-	-	6	18	3	11	7	0	0	0	4
	デヒドロ酢酸	54	5	0	0	-	-	6	18	3	11	7	0	0	0	4
	安息香酸	54	5	0	0	-	-	6	18	3	11	7	0	0	0	4
	パラオキシ安息香酸	40	-	-	-	-	-	5	-	15	-	10	-	-	-	10
合成着色料	タール色素	588	60	-	-	-	-	72	216	36	72	84	-	-	-	48
発色剤	亜硝酸根	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漂白剤	亜硫酸	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合成甘味料	サッカリンナトリウム	62	5	-	-	8	-	6	18	3	11	7	-	-	-	4
	アセスルファムカリウム	62	5	-	-	8	-	6	18	3	11	7	-	-	-	4
	スクラロース	11	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
酸化防止剤	BHA	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	BHT	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二酸化イオウ	11	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
防ばい剤	オルトフェニルフェノール	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	ジフェニル	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	チアベンダゾール	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	イマザリル	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
品質保持剤	プロピレングリコール	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
pH		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重金属	スズ	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	鉛	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
	カドミウム	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヒ素	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
酸価・過酸化物価		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミネラルウォーター類成分規格	元素類	20	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
	陰イオン	10	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
	その他	10	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
特定原材料	そば	5	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	
指定外	サイクラミン酸	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
	TBHQ	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
	着色料	30	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-

※ソース（缶詰・びん詰食品を除く）、たれ、粉末清涼飲料

(イ) 食品中の残留農薬

	農作物及びその加工品
検体数	23
項目数	5,092
EPN	23
XMC	23
アクリナトリン	21
アザコナゾール	13
アザメチホス	23
アジンホスメチル	23
アゾキシストロビン	23
アトラジン	23
アニロホス	23
アメトリン	18
アラクロール	23
アレスリン ※2	20
イソキサチオン	23
イソフェンホス ※1	23
イソプロカルブ	21
イソプロチオラン	23
イプロバリカルブ	23
イプロベンホス	23
イマザメタベンズメチルエステル ※2	21
イマザリル	19
イミダクロプリド	22
イミベンコナゾール	0
インダノファン	23
インドキサカルブ	23
エスプロカルブ	23
エタルフルラリン	11
エチオン	23
エディフェンホス	23
エトキサゾール	16
エトフェンプロックス	21
エトプロホス	0
エポキシコナゾール	23
オキサジアゾン	23
オキサジキシル	23
オキサジクロメホン	23
オキサミル	23
オキシカルボキシ	23
オキシフルオルフェン	23
オリザリン	23

カズサホス	23
カフェンストロール	23
カルバリル	23
カルプロパミド	21
キナルホス	23
キノキシフェン	11
キノクラミン	23
キントゼン	6
クミルロン	23
クレソキシムメチル	23
クロキントセットメキシル	23
クロチアニジン	23
クロフェンテジン	23
クロマフェノジド	23
クロリダゾン	23
クロルタールジメチル	23
クロルピリホス	23
クロルピリホスメチル	23
クロルフェンビンホス ※2	23
クロルプロファミ	23
クロロクスロン	23
クロロベンジレート	23
シアゾファミド	23
シアノホス	23
ジウロン	23
ジエトフェンカルブ	23
シクロエート	23
ジクロシメット ※2	23
ジクロフェンチオン	23
シクロプロトリン	18
ジクロホップメチル	21
ジクロラン	23
シハロトリン ※2	23
シハロホップブチル	23
ジフェナミド	23
ジフェノコナゾール ※2	16
シフルトリン ※2	23
シフルフェナミド	23
ジフルフェニカン	23
ジフルベンズロン	23
シプロコナゾール	13
シプロジニル	23

シペルメトリン ※2	23
シマジン	18
シメコナゾール	23
ジメタメトリン	23
ジメチリモール	23
ジメテナミド	23
ジメトエート	22
ジメトモルフ	22
シメトリン	23
ジメピペレート	23
シラフルオフェン	0
スピノサド ※3	0
スピロキサミン ※2	0
ターバシル	23
ダイアジノン	23
ダイムロン	23
チアクロプリド	23
チアベンダゾール	23
チアメトキサム	23
チオベンカルブ	23
テクナゼン	3
テトラクロルビンホス	23
テトラコナゾール	23
テトラジホン	23
テニルクロール	23
テブコナゾール	11
テブチウロン	23
テブフェノジド	23
テブフェンピラド	23
テフルトリン	23
テフルベンズロン	23
デルタメトリン及びトラロメトリン	23
テルブトリン	23
テルブホス	5
トリアジメノール ※2	23
トリアジメホン	23
トリアゾホス	23
トリアレート	11
トリシクラゾール	10
トリチコナゾール	23
トリブホス	23
トリフルムロン	23

トリフルラリン	19
トリフロキシストロビン	23
トルクロホスメチル	23
トルフェンピラド	23
ナプロアニリド	23
ナプロパミド	22
ニトロタールイソプロピル	23
ノバルロン	23
パクロブトラゾール	23
パラチオン	23
パラチオンメチル	23
ハルフェンプロックス	21
ビテルタノール ※2	18
ビフェノックス	23
ビフェントリン	23
ピペロホス	23
ピラクロホス	23
ピラゾホス	23
ピラゾリネート	21
ピラフルフェンエチル	21
ピリダフェンチオン	23
ピリダベン	23
ピリフェノックス ※2	9
ピリフタリド	23
ピリブチカルブ	23
ピリプロキシフェン	23
ピリミカーブ	23
ピリミノバックメチル ※2	23
ピリミホスメチル	23
ピリメタニル	23
ピロキロン	23
ピンクロゾリン	23
フィプロニル	23
フェナミホス	23
フェナリモル	23
フェニトロチオン	23
フェノキサニル	20
フェノキシカルブ	23
フェノチオカルブ	23
フェノトリン ※2	19
フェリムゾン	23
フェンアミドン	23

フェンスルホチオン	23
フェントエート	23
フェンバレレート ※2	23
フェンピロキシメート	0
フェンピロキシメート (Z)	23
フェンブコナゾール	23
フェンプロパトリン	23
フェンプロピモルフ	23
フサライド	18
ブタクロール	23
ブタフェナシル	23
ブタミホス	23
ブピリメート	23
ブプロフェジン	22
フラムプロップメチル	23
フラメトピル	23
フルアクリピリム	23
フルキンコナゾール	23
フルシトリネート ※2	23
フルトラニル	23
フルバリネート ※2	23
フルフェノクスロン	23
フルミオキサジン	23
フルリドン	23
プレチラクロール	23
プロシミドン	23
プロチオホス	21
プロパキサホップ	23
プロバジン	23
プロパニル	23
プロピコナゾール ※2	23
プロピザミド	23
プロヒドロジャスモン ※2	11
プロフェノホス	23
プロポキシル	21
ブロマシル	23
プロメトリン	23
ブロモプロピレート	23

ブロモホス	23
ヘキサコナゾール	9
ヘキサジノン	23
ヘキサフルムロン	23
ヘキシチアゾクス	23
ベナラキシル	23
ベノキサコール	23
ペルメトリン ※2	21
ペンコナゾール	13
ペンシクロン	23
ベンゾフェナップ	23
ベンダイオカルブ	23
ペンディメタリン	23
ペントキサゾン	23
ベンフルラリン	13
ベンフレセート	23
ホサロン	21
ボスカリド	23
ホスチアゼート ※2	23
ホスファミドン ※2	20
ホスメット	23
マラチオン	23
マイクロブタニル	23
メタバズチアズロン	23
メタミドホス	7
メチダチオン	23
メトキシクロール	23
メトキシフェノジド	23
メトラクロール	23
メビンホス	13
メフェナセット	23
メフェンピルジエチル	23
メプロニル	23
モノクロトホス	23
モノリニューロン	23
リニューロン	23
ルフェヌロン	23
レナシル	23

※1：イソフェンホスはイソフェンホスとイソフェンホスオキシソンの和

※2：異性体の和

※3：スピノサドはスピノシン A とスピノシン D の和

(ウ) 畜水産食品中の動物用医薬品

		合計	食肉・鶏卵	魚介類および その加工品
検体数		6	2	4
項目数		94	46	48
サイ テ ラ 抗 生 物 質	オキシテトラサイクリン	4	2	2
	クロルテトラサイクリン	4	2	2
	テトラサイクリン	4	2	2
	ドキシサイクリン	4	2	2
合 成 抗 菌 剤	スルファジミジン	4	2	2
	スルファモノメトキシシ	4	2	2
	スルファチアゾール	4	2	2
	スルファジメトキシシ	4	2	2
	スルファキノキサリン	4	2	2
	スルファメラジン	4	2	2
	スルファクロルピリダジン	4	2	2
	スルファジアジン	4	2	2
	スルファドキシシ	4	2	2
	スルファニトラン	4	2	2
	スルファピリジン	4	2	2
	スルファメトキサゾール	4	2	2
	スルファメトキシピリダジン	4	2	2
	チアンフェニコール	4	2	2
	エトパベート	4	2	2
	オルメトプリム	4	2	2
	トリメトプリム	4	2	2
	5-プロピルスルフォニル-1H-ベンズイミダ ゾール-2-アミン	4	2	2
	マラカイトグリーン	0	0	0
	ロイコマラカイトグリーン	0	0	0
駆 虫 剤	フルベンダゾール	2	0	2
	レバミゾール	4	2	2

(エ) 器具容器包装

	合計	金属缶	ガラス瓶
検体数	0	0	0
項目数	0	0	0
カドミウム	0	0	0
鉛	0	0	0
ヒ素	0	0	-
蒸発残留物	0	0	-
フェノール	0	0	-
ホルムアルデヒド	0	0	-
エピクロールヒドリン	0	0	-

(オ) いわゆる健康食品の医薬品成分検査

検体数	項目数	検査項目						
		シルデナフィル	バルデナフィル	タダラフィル	ホンデナフィル	フェンフルラミン	N-ニトロソフェンフルラミン	シブトラミン
5	35	5	5	5	5	5	5	5

(5) 環境検査

ア 水質検査

	合計	上水道	専用水道	簡易水道	簡易専用 水道	小規模水道	井戸水	受水小規模 水道	その他の 飲料水	プールの 水	浴槽水	採暖槽	工場排水	地下水	その他水質 ※1
検体数	164	10	0	0	0	11	28	0	7	0	32	6	10	24	36
項目数	1,195	156	0	0	0	152	396	0	100	0	107	6	162	116	334
一般細菌数	52	10	-	-	-	10	25	-	7	-	-	-	-	-	-
大腸菌群	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-
大腸菌群数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸菌	52	10	-	-	-	10	25	-	7	-	-	-	-	-	-
レジオネラ属菌	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	6	-	-	-
亜硝酸態窒素	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
塩素イオン	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	30
全有機炭素 (TOC)の量	59	10	-	-	-	10	27	-	7	-	5	-	-	-	-
過マンガン酸 カリウム消費量	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-
鉄	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
総硬度	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
pH	64	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	10	-	4
臭気	64	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	10	-	-
味	35	10	-	-	-	10	13	-	2	-	-	-	-	-	-
色度	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
濁度	80	10	-	-	-	11	27	-	7	-	25	-	-	-	-
アンモニア性窒素	54	10	-	-	-	10	27	-	7	-	-	-	-	-	-
残留塩素	55	10	-	-	-	11	27	-	7	-	-	-	-	-	-
蒸発残留物	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
銅	15	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	10	-	4
亜鉛	15	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	10	-	4
鉛	9	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	4
総トリハロメタン	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BOD	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
その他※2	224	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	116	288

※1：行政検査及び排水自主検査を含む

※2：溶解性鉄、溶解性マンガン、マンガン、ニッケル、クロム、カドミウム、ヒ素、セレン、六価クロム、フッ素、ホウ素、シアン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、1,4-ジオキサン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、アンモニア等、COD、SS、ノルマルヘキサン抽出物、よう素消費量、総水銀、温度、外観、ヘッドスペース GCMS SCAN、フッ化物イオン、ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、炭酸イオン、硫酸イオン、硝酸イオン

イ 家庭用品

	合計	繊維製品	接着剤	洗浄剤	噴霧剤	その他
検体数	30	30	0	0	0	0
項目数	116	116	0	0	0	0
ホルムアルデヒド	30	30	-	-	-	-
メタノール	0	-	-	-	-	-
有機水銀	1	1	-	-	-	-
アゾ化合物	84	84	-	-	-	-
塩化水素・硫酸	0	-	-	-	-	-
水酸化ナトリウム・ 水酸化カリウム	0	-	-	-	-	-
ディルドリン	1	1	-	-	-	-
落下試験	0	-	-	-	-	-
漏水試験	0	-	-	-	-	-
圧縮変形試験	0	-	-	-	-	-

ウ その他の環境検査

大気環境保全に関する検査として、悪臭の検査を実施しています。令和3年度の実績は0件でした。

(6) 放射性物質に関する検査

食品の放射性物質に関する検査を実施しました。

	検体	検体数	項目数
食品検査	学校給食（事前検査）	11	33
	農林畜産物	0	0
	行政検査 ※	20	60
	市民持ち込みによる放射性物質検査	1	3
	合計	32	96

※うち10検体は神奈川県衛生研究所に委託

(7) 苦情品検査

生活衛生課等に相談があった苦情のうち、必要に応じて微生物及び理化学等検査を実施しています。検査項目別内訳は次のとおりです。

	合計	食材	ふき取り	便	水	異物	その他※1
検体数	8	3	0	0	0	4	1
項目数	46	36	0	0	0	8	2
食中毒菌等	36	36	-	-	-	-	-
細菌数等	0	-	-	-	-	-	-
鏡顕・目視（形状等の確認）	4	-	-	-	-	4	-
蛍光X線検査	2	-	-	-	-	2	-
赤外分光光度計検査	2	-	-	-	-	2	-
カタラーゼ試験	0	-	-	-	-	-	-
カルシウム試験	0	-	-	-	-	-	-
燃焼試験	0	-	-	-	-	-	-
その他 ※2	2	-	-	-	-	-	2

※1：消毒液

※2：ディスク培養試験(1種類)、混合培養試験

(8) 精度管理検査

食品検査は、食品検査の業務管理（GLP）に基づく内部精度管理及び外部精度管理、感染症検査は厚生労働省が行う外部精度管理、環境検査は内部精度管理並びに神奈川県、厚生労働省及び環境省が行う外部精度管理に参加しました。

	合計		内部精度管理		外部精度管理		
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	
合計	920	5,354	891	5,307	29	47	
食品検査	理化学	243	4,608	231	4,578	12	30
	細菌	13	13	10	10	3	3
感染症検査	細菌	6	6	-	-	6	6
	ウイルス	643	643	637	637	6	6
環境検査	15	84	13	82	2	2	

(9) 衛生研究所の主要機器整備状況

No.	機器名称	機器メーカー	型式
1	ガスクロマトグラフ (ECD、FID)	島津製作所	GC-2014
2	ヘッドスペースオートサンプラー付ガスクロマトグラフ質量分析計※	Agilent Technologies	Agilent 5977B HSS-GC/MSDシステム
3	ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 7000D/7890B
4	高速液体クロマトグラフ	Agilent Technologies	Agilent HP1260 Infinity II
5	液体クロマトグラフ質量分析計	SCIEX	QTRAP4500
6	液体クロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent Ultivo LCMS
7	陽イオン分析用イオンクロマトグラフ (シアンポストカラム付)	Thermo Fisher Scientific	Integrion, AS-PS, PCM520
8	陰イオン分析用イオンクロマトグラフ※	Thermo Fisher Scientific	DionexInterigion
9	誘導結合プラズマ質量分析装置	Agilent Technologies	Agilent 7700X
10	分光光度計	日立	U-2900
11	分光光度計	Thermo Fisher Scientific	NanoDrop One
12	紫外線可視分光光度計※	島津製作所	UV-1900i
13	原子吸光光度計	島津製作所	AA-7000
14	全有機体炭素計	島津製作所	TOC-L CPN
15	水銀濃度計	日本インスツルメンツ	RA-3A
16	DNAシーケンサー	Thermo Fisher Scientific	3500-250-BA04 GeneticAnalyzer
17	PCR遺伝子増幅装置	タカラ	TP600
18	PCR遺伝子増幅装置	タカラ	TP650
19	PCR遺伝子増幅装置	Thermo Fisher Scientific	SimpliAmp PCR System
20	PCR遺伝子増幅装置	Thermo Fisher Scientific	ProFlex PCR System 3×32Well
21	リアルタイムPCRシステム	Thermo Fisher Scientific	QuantStudio5
22	リアルタイムPCRシステム	Thermo Fisher Scientific	QuantStudio5
23	リアルタイムPCRシステム	Thermo Fisher Scientific	QuantStudio5
24	リアルタイムPCRシステム	Thermo Fisher Scientific	QuantStudio5
25	パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド	CHEF DRIII システム
26	蛍光・可視光イメージング装置	ATTO	WSE-5200 Pringtgraph2M
27	生物顕微鏡	オリンパス	BX50
28	生物顕微鏡	オリンパス	CKX53-22PH
29	生物顕微鏡	オリンパス	CKX53
30	赤外分光光度計	日本分光	FT/IR-4600
31	蛍光 X線分析装置	日立ハイテク	EA6000VX

※印の機器及び固相抽出送液装置（ジューエルサイエンス株式会社 アクアローダー（AL898）、冷凍機付インキュベーター2台（PHC株式会社（MIR-554-PJ、MIR-154S-PJ）を令和3年度特定防衛施設周辺整備調整交付金を使用して更新した。

3 衛生に係る調査研究

(1) 国との共同研究事業

「マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」（研究期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を実施しています。

(2) デング熱等媒介蚊のサーベイランス

本市は、東京2020オリンピック競技会の事前キャンプ地をなっていたため、市内4か所において、6月及び7月は月2回、9月及び10月は月1回、デングウイルス等を媒介するヒトスジシマカ雌のウイルス保有状況調査を実施しました。採取後の蚊を分類した後、デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルスの遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性でした。なお、7月前半及び9月は悪天候のため、調査を中止しました。

		月別採集数（ヒトスジシマカ雌数）						
		6月		7月		8月	9月	10月
合計		14	21	0	32	11	0	27
採集場所	相模大野中央公園（南区）	2	1	中止	7	1	中止	2
	グリーンプール周辺（中央区）	6	13	中止	8	4	中止	13
	ギオンアリーナ周辺（南区）	4	6	中止	2	3	中止	2
	ギオンスタジアム周辺（南区）	2	1	中止	15	3	中止	10
遺伝子の検出結果	検体数※	4	4	中止	4	4	中止	4
	デングウイルス	陰性	陰性	-	陰性	陰性	-	陰性
	チクングニアウイルス	陰性	陰性	-	陰性	陰性	-	陰性
	ジカウイルス	陰性	陰性	-	陰性	陰性	-	陰性

実施時期：令和3年6月～10月（雨天中止）

実施個所：東京2020オリンピック競技会事前キャンプ地周辺

実施方法：人囮法

※ 各採取地内1定点で採集された蚊を定点ごとにまとめて検体としている。

4 公衆衛生情報の収集、解析及び提供

感染症情報センターから感染症情報を発信し、市民への注意喚起を図りました。

ア 週報発信 52回

イ 月報発信 12回

5 衛生研究所内研修

当所及び関係機関職員の資質向上のため、研修会を企画・実施しました。

No.	表題	講師
1	GCMSMS メンテナンス研修	アジレントテクノロジー (株)
2	顕微鏡研修	オリンパス メディカル サイエンス 販売 (株)
3	LCMSMS トレーニング研修	(株) エービー・サイエックス
4	残留農薬試験技術研修	所内講師
5	サンガー法研修	横浜市衛生研究所職員